TADOKU JUNIOR　せかいのなぜなに神話　★★★☆☆ ふつう　438語

Why the White Hares have Black Ears

白いウサギの耳はなぜ黒い

Florence Holbrook（1902年の本）　**原文そのまま**　朗読：Raybrite

人の声の朗読
を聞く・Web版

どんなおはなし？　けんかばかりする白いウサギたちに、森の精がおはなしをしてあげます。ウサギたちはまほうの雪から生まれたというのですが……。



In the forest there is a beautiful spirit. All the beasts and all the birds are dear to him, and he likes to have them gentle and good. One morning he saw some of his little white hares fighting one another, and each trying to seize the best of the food.

"Oh, my selfish little hares," he said sadly, "why do you fight and try to seize the best of everything for yourselves? Why do you not live in love together?"

"Tell us a story and we will be good," cried the hares.

Then the spirit of the forest was glad. "I will tell you a story of how you first came to live on the green earth with the other animals," he said, "and why it is that you

are white, and the other hares are not."

Then the little hares came close about the spirit of the forest, and sat very still to hear the story.

"Away up above the stars," the gentle spirit began, "the sky children were all together one snowy day. They threw snowflakes at one another, and some of the snowflakes fell from the sky. They came down swiftly between the stars and among the branches of the trees. At last they lay on the green earth. They were the first that had ever come to the earth, and no one knew what they were. The swallow asked, 'What are they?' and the butterfly answered, 'I do not know.' The spirit of the sky was listening, and he said, 'We call them snowflakes.'

"'I never heard of snowflakes. Are they birds or beasts?' asked the butterfly.

"'They are snowflakes,' answered the spirit of the sky, 'but they are magic snowflakes. Watch them closely.'

"The swallow and the butterfly watched. Every snowflake showed two bright eyes, then two long ears, then some soft feet, and there were the whitest, softest little hares that were ever seen."

"Were we the little white hares?" asked the listeners.

"You were the little white hares," answered the spirit, "and if you are gentle and good, you will always be white."

The hares were not gentle and good; they were fretful, and before long they were scolding and fighting again. The gentle spirit was angry. "I must get a firebrand and beat them with it," he said, "for they must learn to be good."

So the hares were beaten with the firebrand till their ears were black as night. Their bodies were still white, but if the spirit hears them scolding and fighting again, it may be that we shall see their bodies as black as their ears.

森には美しい精がすんでいます。けものも鳥もみんな森の精にとって大切で、精はみんながやさしくよい子でいてくれるのがすきです。ある朝、森の精は、小さな白いウサギたちがけんかをして、いちばんおいしい食べものをとりあっているのを見ました。

「ああ、自分のことばかり考える小さなウサギたち」と精はかなしそうに言いました。「どうしてけんかをして、何でもいちばんいいものを自分のものにしようとするのだい？どうして仲よくくらさないのだい？」

「おはなしをして。そうしたらいい子にするから」とウサギたちはさけびました。

すると森の精はうれしくなりました。「おまえたちがはじめてほかの動物たちといっしょに緑の地上でくらすようになったわけと、どうしておまえたちは白くて、ほかのウサギはそうではないのか、そのおはなしをしてあげよう」と精は言いました。

小さなウサギたちは森の精のまわりに集まり、じっとすわっておはなしを聞きました。

「ずっとずっと星の上のほうで」とやさしいせいは話しはじめました。「ある雪の日、空の子どもたちはみんなで集まっていた。子どもたちは雪をなげっこしていて、雪のかけらがいくつか空から落ちてしまった。雪は星のあいだを通り、木の枝のあいだをぬけて、すいすいとおりてきた。そしてとうとう、緑の地上にふわりとつもった。地上に雪がやってきたのはそれがはじめてだったので、それが何なのか、だれも知らなかった。ツバメが『これは何？』ときくと、チョウは『わからないわ』と答えた。空の精がそれを聞いていて、『それは雪というのだよ』と言った。

「『雪なんて聞いたことがないわ。鳥なの？けものなの？』とチョウはきいた。

「『それは雪だよ』と空の精は答えた。『でも、まほうの雪なんだ。よく見ていてごらん』

「ツバメとチョウはじっと見ていた。すると雪のかけらの1つ1つに、きらきらした目が2つあらわれ、それから長い耳が2つ、それからやわらかい足があらわれて、見たこともないほど白くてふわふわの小さなウサギたちになったのさ。」

「その小さな白いウサギが、ぼくたちだったの？」と聞いていたウサギたちはききました。

「その小さな白いウサギが、おまえたちだったのだよ」と精は答えました。「やさしくよい子でいれば、おまえたちはいつまでも白いままだよ。」

ところがウサギたちは、やさしくもよい子でもありませんでした。ぶつぶつもんくを言い、まもなくまたのしりあって、けんかをはじめました。やさしい森の精もおこりました。「もえている木のえだでたたかなければ」とせいは言いました。「よい子になることをおぼえさせなければならない。」

こうしてウサギたちは、もえているえだでたたかれ、耳が夜のようにまっ黒になってしまいました。体はまだ白いままですが、もし森の精がまたウサギたちのけんかを聞いたら、体まで耳と同じようにまっ黒になってしまうかもしれません。

たんご と クイズ 白いウサギの耳はなぜ黒い

forest 森	hares ウサギ	stars 星
snowflakes 雪のかけら	butterfly チョウ	ears 耳
black 黒い		

Q1 白いウサギたちは、何から生まれた？

① 白い花　② まほうの雪　③ 雲

Q2 空の子どもたちは、雪の日に何をしていた？

① 雪なげ　② 雪だるまづくり　③ そりあそび

Q3 ウサギの耳が黒くなったのはどうして？

① 土の中をほったから　② 夜おそくまで起きていたから　③ またけんかをしてこらしめられたから

こたえ

Q1 ② 空から落ちたまほうの雪のかけらに目や耳や足があらわれて、白いウサギになりました。

Q2 ① 空の子どもたちは雪をなげっこしていて、そのかけらが空から地上へ落ちてきたのです。

Q3 ③ やさしくするとやくそくしたのに、またけんかをしたので、森の精にこらしめられて耳が黒くなったのです。

原田英語の多読ベストジュニア

本物の英語の絵本 1,000話以上を、原文・人の声の朗読・和訳つきで。ゲーム・なぞなぞも。ぜんぶ無料・登録なし。

haradaeigo.com/tadokubestjr/

出典　英文：原文そのまま（1語も書きかえていません）。Project Gutenberg 電子書籍 #22420（Florence Holbrook、1902年）。パブリックドメイン。
挿絵：この本には挿絵がないため、場面をイメージして AI（Codex）で描いた絵です。
朗読（Web版）：Raybrite（LibriVox のボランティア。パブリックドメイン）
和訳・クイズ：AIと人が作成。AIは３重チェック。人の目でも順次確認しています。